

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」出町柳校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			子どもの特性や支援内容に合わせてスペースを変えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常に3名以上の指導員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差をなくし車イスの方でも入りやすいようにしている。通路や待合室は少し狭いので待っていただくスペースを確保している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			児発管を始め意識できているように思う。短期、長期の目標を設定し努力している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートをもとに職員と共有をして改善方法を考えていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所内で周知をするとともに会社を集約しホームページにて公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			会社の発達支援研究所が職員の資質向上のため初任者研修や定例研修など実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			受付シートを記入して頂き、聞き取りにてアセスメントを行い見学、体験を行い
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			半年ごとにアセスメントを実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			指導員と児発管が相談しつつプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			日々の支援で児童の様子を振り返りながら内容を工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇の際は追加をして児童の様子や成長に合わせて対応をしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			課題に応じて SST を行い集団生活につなげていけるように工夫をしている。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝にミーティングで確認を行っている。複数で担当している場合は情報共有をしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			空いている時間を利用して共有は必ず行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			できる限りその日に記録をしていくできない場合は、翌日には記録を書いている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の振り返りに加えて半年ごとに見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○			児童に合わせて複数の組み合わせをして取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			全般的に参加の機会がない。体制的には担当者もしくは児発管が参加できるようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者から要望がある場合、訪問し情報の共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			保護者から要望がある場合、訪問し情報の共有を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		保護者から要望がある場合、訪問し情報の共有を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		あまり連携が取れていないため積極的に連携を実施していきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流する機会がないので、職員に見学に行ってもらうなど交流と理解を深め、一緒にできる方法があるか探っていく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	参加できていない。可能な限り参加していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々子どもの成長や課題などお互いが伝え合い共通理解をしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		支援プログラムとして明確に行っていないため、今後勉強していきたい。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明をしている。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談がある場合は対応している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		個人情報保護の観点から保護者同士の連携は行っていない。今後必要性を感じたら検討していきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応している。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINE やお便りを利用したり、事業所内に掲示をしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			鍵のついている書庫に保管している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じて対応をしている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の方が参加できるようなイベントは開催していない。お問い合わせがあれば見学を促している。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを準備し月に1回程度訓練を行っている。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			説明に加え、計画書にも記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事を支援の中で取ることは行っていない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月に1回ミーティングを行い対策を考えている。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」出町柳校

保護者等数（児童数）： 36 回収数： 31 割合： 91.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	3		・スタッフデスク空間の見直しをされ空間作りに意識されていると思います。 →スタッフの空間もだが、児童の活動空間も過ごしやすいようにしている。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1		常に3人以上の指導員を配置している。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	12	2	無回答 1 ・1つのフロアなので必要ないのではないか。 →入口付近は車イスの方でも通りやすいようにものをなるべく置かないようにした。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	33			日々の変化に対してその都度対等してもらっている。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	30	3		子どもの特性などに合わせて療育内容を工夫している。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	12	12	無回答 1 ・個別支援の形態なので他児と関わることは難しいが、他の先生と交流など色々と考えて頂いていると思います。 →担当の先生以外でも関わる時間を設けコミュニケーションを図っている。 ・特に必要ないかと思います。

保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33			見学や契約時に説明をしている。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	1		・色々な課題に取り組んで頂き又家族では苦手なことに取り組むことが難しいことも上手く支援して頂いていると思います。 →保護者と相談する中で躓きのある課題はその都度取り組んでいる。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31	2		保護者の要望があれば話す時間を設けることもある。日々の様子はなるべく伺うようにしている。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	9	12	無回答 1 ・利用したことはないが、積極的に取り組まれているのではないかと思います。 →現在、開催する予定はないが要望があれば検討していきたい。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	26	7		・苦情の経験がないので不明 →苦情があった場合は迅速に対応を行っていく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31	2		情報伝達は LINE を使用している。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	9	4	ホームページなどでもアップはしているが、教室内で掲示や LINE の情報伝達が主となっている。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	27	5		無回答 1 ・不明 →鍵のついた書庫で保管をしている。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	24	6	3	契約時に保護者に説明をしている。また教室室内にも掲示をしている。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	10	4	無回答 1 ・不明 →月に 1 回災害を想定して訓練を行っている。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	28	3	1	無回答 1 ・行ったら楽しんでいますが行く前は「行きたくない！」と言っています。 →児童の様子を伺いながら気持ちを聞くようにしていく。 ・先生が代わっても楽しみに通所できていて、信頼関係も築くことができていると思います。

					→担当の先生が代わったり環境の変化がある際は児童の様子をより注意してみるようにしている。
	⑮	事業所の支援に満足しているか	32		無回答 1 特に意見はなかったが、日々満足していただけるように指導員が内容を考え療育に取り組んでいる。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。